

各公共交通における目標値の設定について

資料 2

協議事項

名鉄西尾・蒲郡線

	年間利用者数	
R 2	2,595,000	実績
R 3	3,067,000	回復を見込み活性協が設定した数値
R 4	3,297,000	前年度比 +7.50%
R 5	3,376,000	前年度比 +2.40%
R 6	3,392,000	前年度比 +0.47%
R 7	3,409,000	前年度比 +0.50% 平成30年度実績を目標値に設定。
R 8	—	
R 9	—	

R 3. 7に策定のにしがま線げんき戦略Ⅱ（計画年度：令和3～7年度）において設定

名鉄東部交通バス

		R元	R 2	R 9
岡崎西尾線 （三和）	年間利用者数	66,967	66,666	60,270
	便あたり	9.5	8.7	8.6
岡崎西尾線 （室場）	年間利用者数	178,801	145,436	160,921
	便あたり	12.6	10.8	11.3
一色線	年間利用者数	121,991	109,408	109,792
	便あたり	10.7	9.6	9.6
計	年間利用者数	367,759	321,510	330,983

- ・ R元（H30.10～R1.9）の90%まで回復すると仮定。90%は330,983人
- ・ R 9の運行日・回数は、R元と同じ数値と仮定

ふれんどバス

	R元	R 2	R 9
年間利用者数	304,975	242,809	274,478
便あたり	18.8	15.2	16.9

- ・ R元（H30.10～R1.9）の90%まで回復すると仮定。90%は274,478人
- ・ R 9の運行日・回数は、R元と同じ数値と仮定

六万石くるりんバス

年間利用者数	毎年3%増	毎年5%増
R 2	161,684	161,684
R 3	166,535	169,768
R 4	171,531	178,257
R 5	176,676	187,704
R 6	181,977	197,089
R 7	187,436	206,944
R 8	193,059	217,291
R 9	198,851	228,156

- ・ 中部運輸局が公表の中部地区交通事業者の輸送実績では、乗合バスのR 2はR元比で平均73%
- ・ 六万石くるりんバスのR 2乗車数161,684人が通常の73%と仮定。100%に換算すると221,484人
- ・ 100%に戻らず90%まで回復すると仮定。通常（221,484人）の90%で換算すると199,335人
- ・ 199,335人という数値は、R 2から毎年3%増加した場合のR 9の数値とほぼ一致
- ・ 以上のことから、R 2を起点に毎年3%増を目標値に設定

六万石くるりんバス各路線の目標値

R 1		R 2. 4 再編後	R 2		R 9	
再編前	年間利用者数		年間利用者数	便当たり	年間利用者数	便当たり
市街地線	36,128	市街地線	19,509	4.5	23,994	5.6
		米津線	4,703	2.2	5,784	2.7
新設	—	西野町線	4,291	1.2	5,277	1.5
東廻り線	31,929	三和線	8,996	3.1	11,064	3.9
		室場線	6,426	2.2	7,903	2.8
西廻り線	47,583	福地線	7,565	3.0	9,304	3.7
平坂中畑線	56,279	平坂中畑線	54,246	11.5	66,716	14.1
寺津線	47,994	寺津矢田線	55,948	11.9	68,809	14.6
	219,913		161,684		198,851	

- ・再編前の市街地線は、主に市街地線、米津線に分割
- ・再編前の東廻り線は、主に三和線、室場線に分割
- ・再編前の西廻り線は、主に平坂中畑線、寺津矢田線、福地線に分割
- ・再編前の平坂中畑線は名鉄東部交通バスが運行。六万石くるりんバスが平坂中畑線として代替
- ・再編前の寺津線は名鉄東部交通バスが運行。六万石くるりんバスが寺津矢田線として代替
- ・再編後のコミバスにおける最低維持基準は、
小型バス路線1便当たり5人、ジャンボタクシー路線1便あたり3人
- ・三和線と室場線、米津線と西野町線はそれぞれ同一車両で運行しており、市民病院や総合福祉センターなどへまたいで利用することとなるため、1便あたりの乗車人数は合算して考える必要がある。
- ・R9においては、どの路線も最低維持基準を満たした目標値の設定となっている。

いっちゃんバス

	R元	R 2	R 9
年間利用者数	3,558	2,724	7,539
便あたり	1.0	1.1	3.0

- ・最低維持基準である1便あたり3人以上を目標とする。
- ・R2.4に再編。小型車両で地域をより細かくカバーし、商業施設を中心にバス停を新設。一部地域にはフリー乗降区間を設置。

いこまいかー

年間利用者数	毎年10%増
R元	1,849
R 2	3,125
R 3	3,438
R 4	3,781
R 5	4,159
R 6	4,575
R 7	5,033
R 8	5,536
R 9	6,090

- ・R2.4に幡豆地区の目的地を大幅に追加。西尾地区は拠点的な施設に目的地を集約。乗合事業からタクシー事業を活用した制度へ変更。事前の利用登録制に変更。
- ・現行計画の目標を継続。毎年10%ずつ増加。

渡船

	H 2 8	H 2 9	H 3 0	R元	R 2	R 9
年間利用者数	255,650	246,476	243,718	251,176	186,974	250,000

- ・佐久島振興課から聞き取り。現行計画の目標を継続。コロナ前の平均値250千人を維持。